



■ 建物規模 / 配置計画

みらい広場・さんさん広場を中心に、「安心」「交流」「暮らし」機能を配置し、人々が自然に集まり、活き活きと暮らせるまちを創出





3つの導入機能

安心機能

■生活について気軽に相談できる場づくりを行い、地域の方々の健康をサポートします。



生活密着型の Wellness saloon

日常生活の中で健康を維持していくための取組み・コンテンツを集約し、地域の方々の健康維持をサポートします。
また、一次診療をクリニックモールに集約し、旭中央病院の混雑緩和に寄与します。病状に応じて旭中央病院への迅速な搬送が可能となります。診療科目は内科、小児科、耳鼻科、眼科を想定し、旭中央病院で不足している科目を充足します。



高齢者が健康に過ごせる介護施設

小規模特養29床を計画します。近接する多世代交流ゾーンで開催されるレクリエーションが、入所者の個別の楽しみや目的になるほか、認知症の進行を予防する側面もあります。
周辺の市民サービスと共に移住して来られる移住者の方には身近なセンターとして、将来の不安へ安心感を提供します。



暮らしを豊かにする健康増進施設

健康増進施設を設置することにより、国保旭病院さまと一体となって旭市エリアの住民のみなさまの健康に対する意欲の向上、健康な心身を維持するためのヘルス&ウェルネスエリアとして更なる価値を構築し、地域の中心拠点となることを目指します。

交流機能

■各交流機能を屋内外に配置することで、地域全体が憩いの場となります。



多世代交流ラウンジ「(仮称) おひさまテラス」

子どもと子育て世代を中心としながら、多世代・多機能が混在し、共に支え、触れ合う「安心・生きがい・おもしろ創造空間」を実現します。学び・遊び・ビジネスに至るまで、地域の方々の「やりたい!」を応援し、コミュニティ醸成とともにまち全体の価値を向上。ひいては持続可能で活力ある旭市の姿「みらいあさひ」の実現に繋がっていきます。



季節の行事の拠点となるイベントスペース(みらい広場)

広場や街路を「地域の共通財産」と捉え、地域住民や近隣施設関係者も一体となって管理します。地域と連携して、賑わいをもたらす催しや防災意識を高めるイベント、環境活動等を実施し、緑やオープンスペースを有効に活用していきます。植樹からはじまり、育成・管理・運営までを地域全体で取り組んでいくことで、コミュニティを育み、まちの魅力向上につなげます。

暮らし機能

■地域の皆様が安心して暮らせるまちを創出します



各世代のニーズにあわせた集合住宅

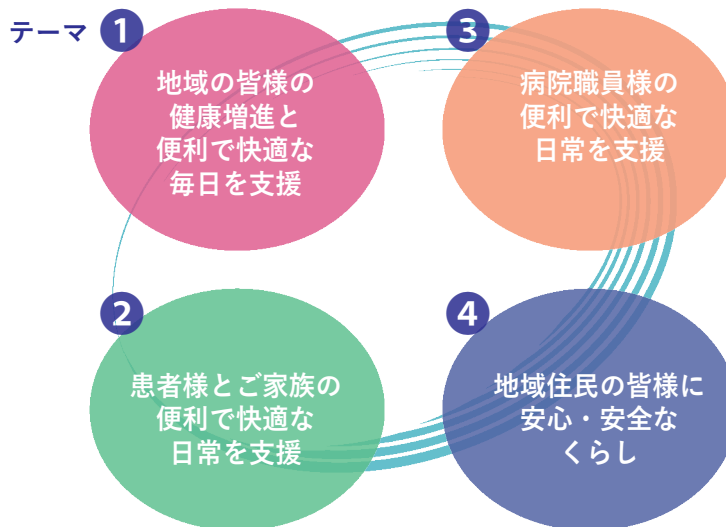
移住を希望される方のニーズに合わせた住宅を提案します。多世代交流ラウンジを通じて地域とのつながりを図ります。
大和ハウスにて一般移住者向け住宅50戸程度を計画します。
楽天堂にて介護対応可能な高齢者住宅40～50戸を計画します。



安心機能 ～健康～

■ コミュニティ創造型「Wellness Town」の実現

下記 4 つのテーマのもと、地域に根差し、地域の安全で安心なまちづくりへの貢献をウェルネス視点で創造します。



■ 旭中央病院の機能を補完する医療施設・機能（クリニック等の提案）

日々の生活の中で健康を維持していくための取組み・コンテンツを集約したエリア【Wellness Town】を提供し、敷地内のクリニックモールや隣接している旭中央病院と連携を図り、地域の皆さまの健康の質（Quality of Health）を高めてまいります。





安心機能 ～防災～

■豊かで安全・安心な生活が実感できる生活環境づくりに貢献するために、地域の防災拠点となることを目指します。

自治体との防災に関する協力関係を構築し、災害時の人命被害拡大防止や地域社会の早期復旧に向けた支援活動、地域と連携した防災活動に取り組みます。

包括提携協定

イオン(株)は2012年より千葉県と『包括連携協定』を締結させていただいております。(日本全国102自治体と締結) 万が一災害が起きたとき、地域の防災拠点となるよう、災害時には、避難場所や備蓄倉庫の役割を果たし、平時においても、地域と連携した防災訓練や啓蒙活動に取り組むなどの防災活動に協力してまいりたいと考えています。



災害時物資調達協定



食料・衣料・医薬品など生活必需品の揃った商業施設が災害時の備蓄倉庫の役割を果たし、災害発生時に自治体の要請を受けて、**食料品を中心とした物資を供給**します。

緊急避難場所として



緊急時には、施設内や駐車場などを地域の皆さまや帰宅困難者の避難所として開放します。

防災訓練・啓蒙活動



お客さま及び従業員の安全確保と意識向上を目指し、**地域と連携した総合消防訓練や防災ポスター展示等の啓蒙活動**を実施します。

緊急輸送物資連携



日本航空とイオン(株)は緊急物資輸送に関する覚書を締結しました。**災害で陸路が寸断された場合などに、イオン(株)が調達した緊急物資を日航が無償で被災地近くへ空輸**します。

メーカーなどと連携する災害支援システム

- イオングループでは食品、日用品メーカーなど約50社と連携し災害時に情報共有し、活用する新緊急システムを立ち上げました。
- 出荷できる在庫や物流体制といった情報を一元管理し、被災地に必要な物資を迅速かつ効率的に届ける計画を立てやすくする、BCP(事業継続計画)の精度を高め災害に強い体制を整えています。
- 「BCPポータルサイト」は日用品メーカーのほか、食品卸や物流事業者などが参加し、羽田や成田、関西国際など全国の7空港とも連携します。
- 被災地近くの工場や店舗、物流網、空港の稼働状況などと、グループで物流を手掛ける物流会社の車両情報などとも組合せ、迅速で効率的な支援体制が構築できるようになります。

被災時の機能確保



断水時には受水槽内の水を飲料水に利用



防災トイレ等
防災用備品の配備

万が一の災害に供え、必要なインフラを最優先で確保し、機能維持に努めます。

交流機能

多世代交流ラウンジは「みらいあさひ」の拠点として設置・整備を行います。

外部空間

交流ゾーンにみらい広場を計画し、子どもを遊ばせることのできる緑豊かな公園などの環境づくりを行い、地域の皆さまの憩いの場となる交流拠点を創出します。

〈活用事例〉

- 子どもの遊び場、地域の憩いの場
- 道の駅と連携したマルシェの開催
- 行政やNPO・テナントなど各種団体のイベント会場



内部空間 多世代交流ラウンジ「(仮称) おひさまテラス」

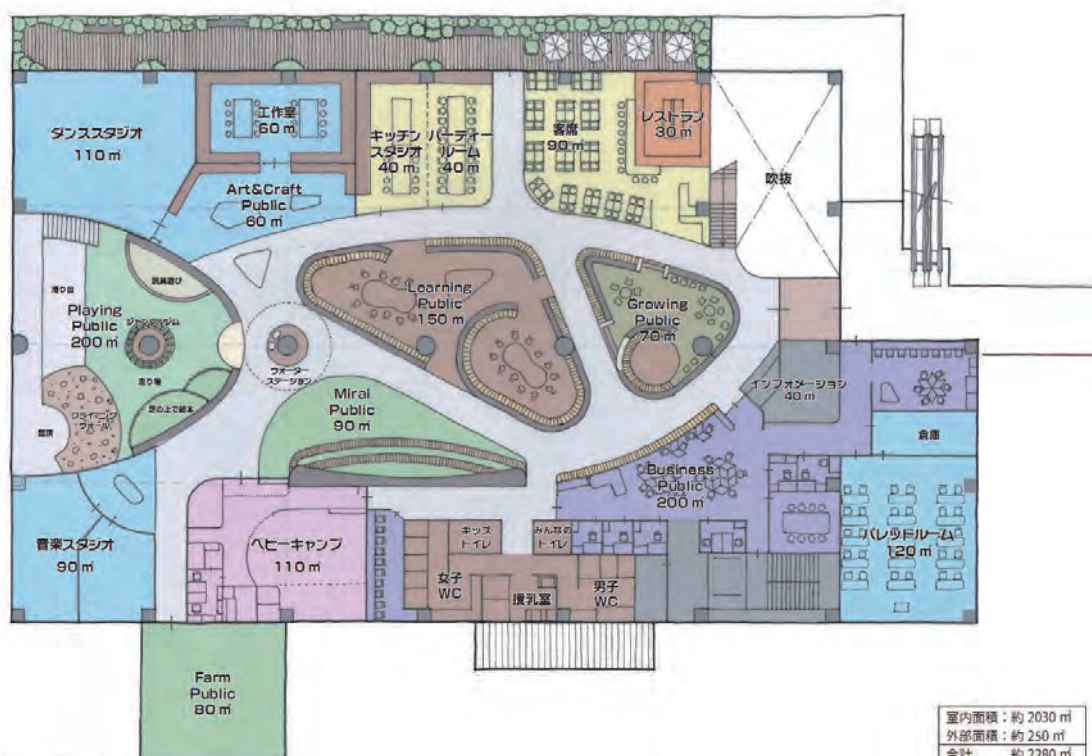
子どもと子育て世代を中心に、遊ぶ・食べる・学ぶ・つくる・働く・育む、6つの活動の柱からコミュニティ醸成と地域の活力向上を実現します。

本に囲まれ、回遊性と一体感のあるレイアウトとし、多様な世代、多彩な活動の混在を互いに感じられる空間を提供します。

利用・活用イメージ

- ・ 地域の若手人気店プロデュースのカフェレストランで、新たなコンテンツと質の高い雇用を創出
- ・ キッチンスタジオから小さく始めるママたちのフードビジネス開発
- ・ パーティールームで子供たちのお誕生日会
- ・ ベビーキャンプに子どもを預けてセミナーに参加
- ・ おじいちゃんから教わる工作教室
- ・ おばあちゃんから教わる裁縫教室
- ・ 音楽やダンスで多世代が交流
- ・ 大学や病院と連携したここならではの教育プログラム
- ・ スモールビジネス支援による小商いの創出
- ・ 本を通じたコミュニティ醸成
- ・ 農と食をテーマにした教育とビジネス創出
- ・ 移住者と地域の各世代の人々が交流を図る場所
- ・ 移住者が地域の情報を得る場所

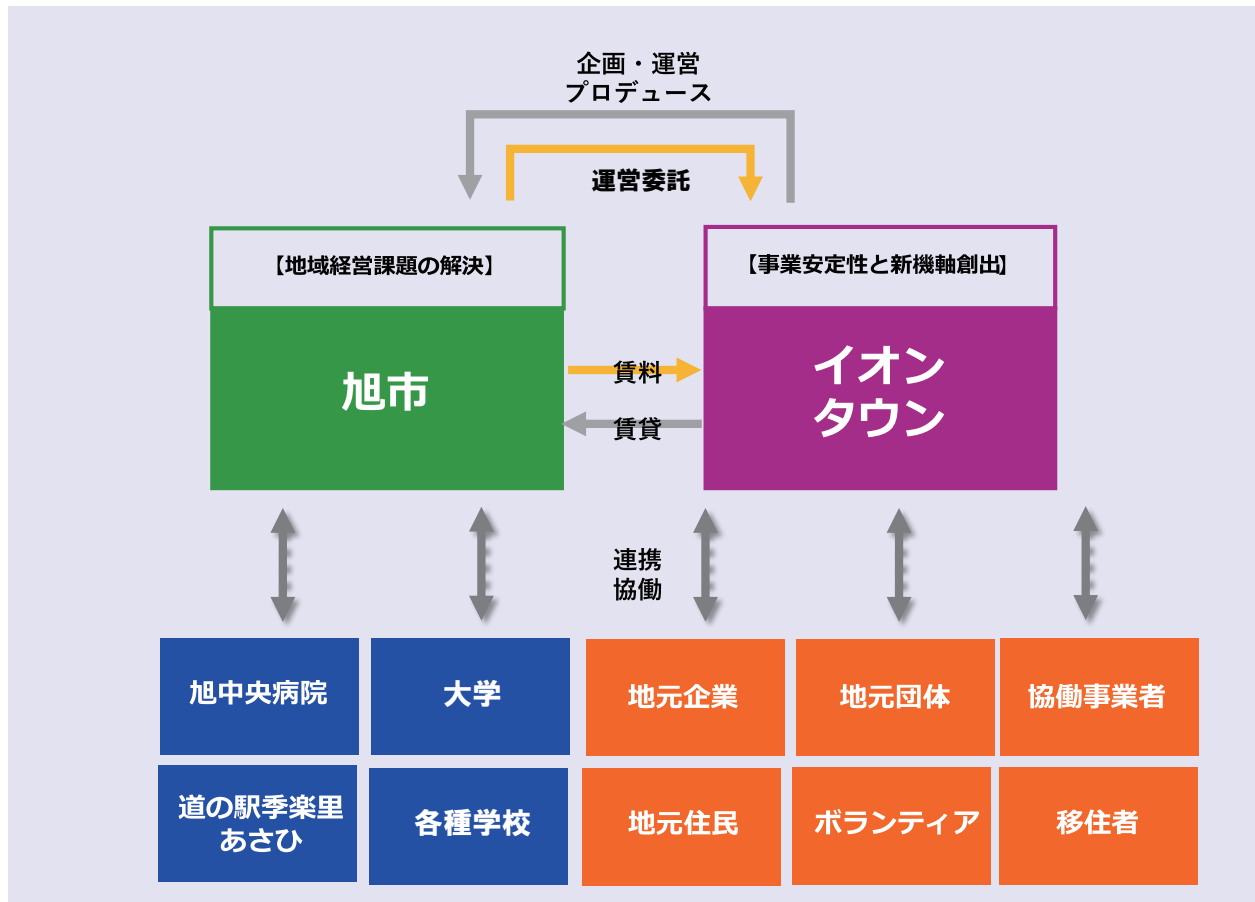
〈多世代交流ラウンジ「(仮称) おひさまテラス」レイアウトイメージ〉





交流機能

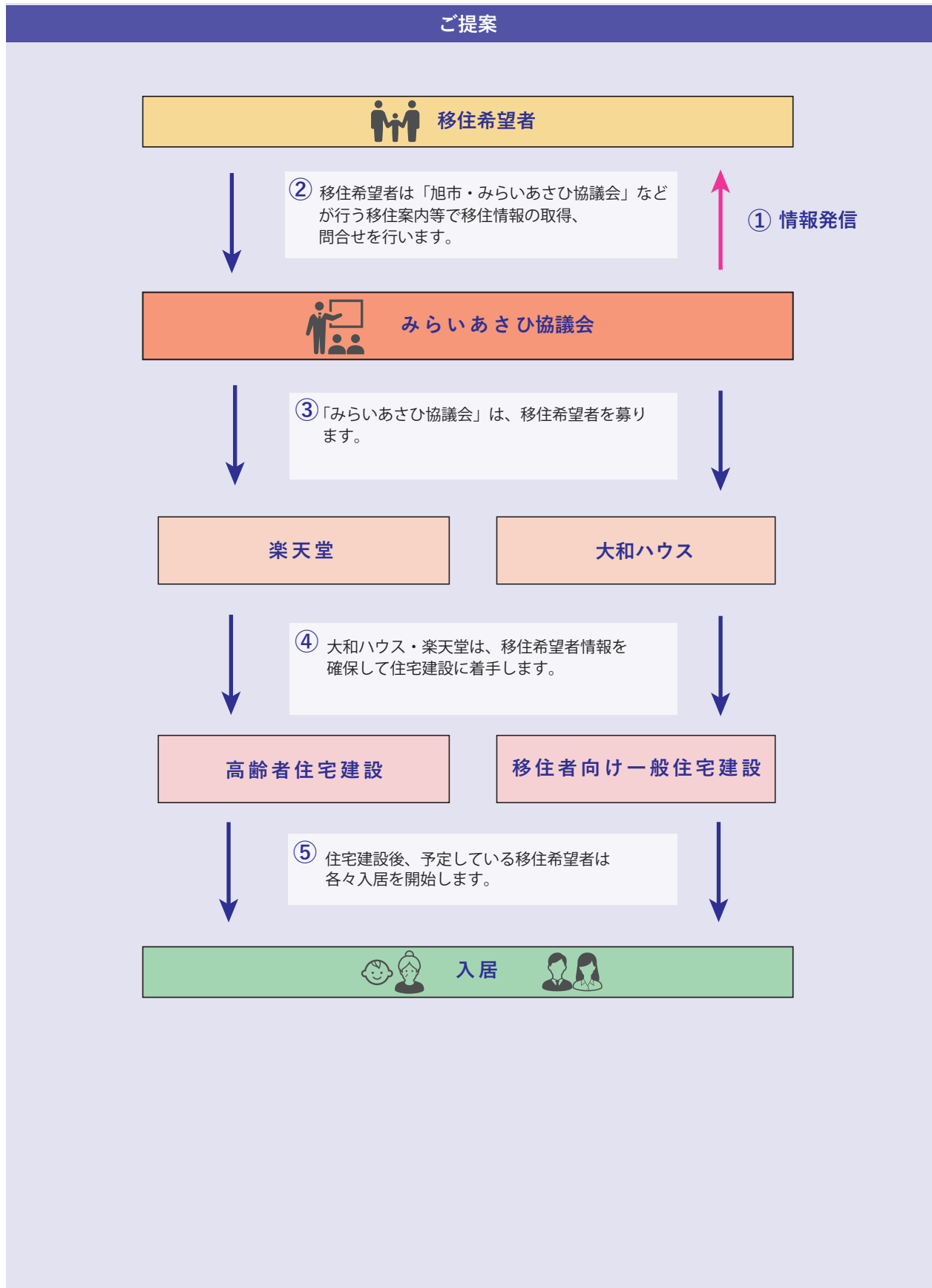
■多世代交流ラウンジ「（仮称）おひさまテラス」運営体制（案）





暮らし機能

■ 移住者向け住宅 事業実施体制





病院連携

健康相談窓口や健康増進施設等、医療・介護が必要になる状態を予防するための施設・機能の提案

『健康状態の見える化』に対する地域の皆様の意識は、体調・時間・コストにより異なります。イオンタウンにおける「健康の見える化」では、旭中央病院様と連携を図り、地域の皆様のそれぞれの意識に応じて、フォローできる仕組みを検討してまいります。

医療提携による健康の見える化



病院勤務者の暮らし向上

旭中央病院にお勤めの方々の暮らしに新たな便利と豊かさを提案いたします。

ネット注文+宅配ロッカー

イオンネットスーパーの「店舗受け取りサービス」を導入し、ご自宅や通勤中、勤務中の休憩時間などにインターネット注文いただいた商品を、店舗内宅配ロッカーでお受け取りいただけます。レジの行列も無く、ストレスフリー。

空いた時間を有効に使っていただくことで、生活に余裕と豊かさをもたらしめます。



休憩時間や帰宅前の余暇

病院に隣接した当施設にて、食事や憩いや学びの機会を多く提供いたします。

強い緊張感を持って勤めていらっしゃる病院関係者の皆様に、少しでも楽しい時間、リラックスできる時間を過ごしていただきたいと考えております。

休憩時間の他、ご自宅に帰る前にお立ち寄りいただき、しばしの休息や趣味の時間を過ごす場としてもご利用いただけます。



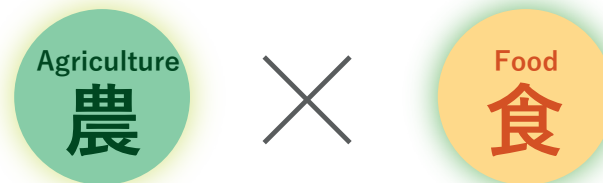


農業関連

農業の活性化、農業人材の育成に資する取り組み

地元事業者・生産者と連携した農と食をテーマにしたレストランや、道の駅とも連動したマルシェイベントなどにより、周辺の農業の更なる活性化やブランディングを図ります。

また、大学・各種学校等とのコラボレーションによる、新たな教育プログラムの提供、農業にまつわる新技術や新ビジネスの創出など、将来を見据えた人材や産業の育成につながる活動の場を提供いたします。



取り組みイメージ

「(仮称)おひさまテラス」キッチンスタジオの活用

大学・各種学校の学生による、地元産品を使った新たなメニュー開発。経営的視点を持ったプログラムとして、生産から収穫、調理、提供までを含めた「地産地消レストラン」開催。



「(仮称)おひさまテラス」Farm Public の活用

テラス空間を使った屋上菜園として、実験的な取組に挑戦。大学・各種学校、その他民間事業者による新たな技術の実証実験や、子どもを対象とした農ビジネスワークショップなど。



楽しみながら、身体の中から健康で美しくなる“食”や“知識” → 『食育』

地元食材を使い、地元ならではの郷土料理を若い世代へ伝承させ、健康をテーマに料理教室を実施します。また、多世代交流ラウンジとも連携を図り、多世代間の交流を楽しみながら、地域全体の食育に対する関心を高めます。



イベントプラザ・さんさん広場の活用

地元生産者や道の駅季楽里あさひとの連携により、農と食をテーマにしたマルシェイベントを開催。農と食から地域をリブランディングしていきます。



※イオンタウン守谷「and PARK Moriya」の様子

※各詳細は、基本協定締結後の協議といたします。



要望事項

■旭市に対する要望事項

- ・ 地方創生拠点整備交付金や地方創生推進交付金を活用した財政支援の積極的な検討をお願いします。
- ・ 移住者募集に対して、移住者募集の情報発信をお願いします。
- ・ 今後各社にて最終的な社内の事業承認を得た上で、基本協定を締結します。